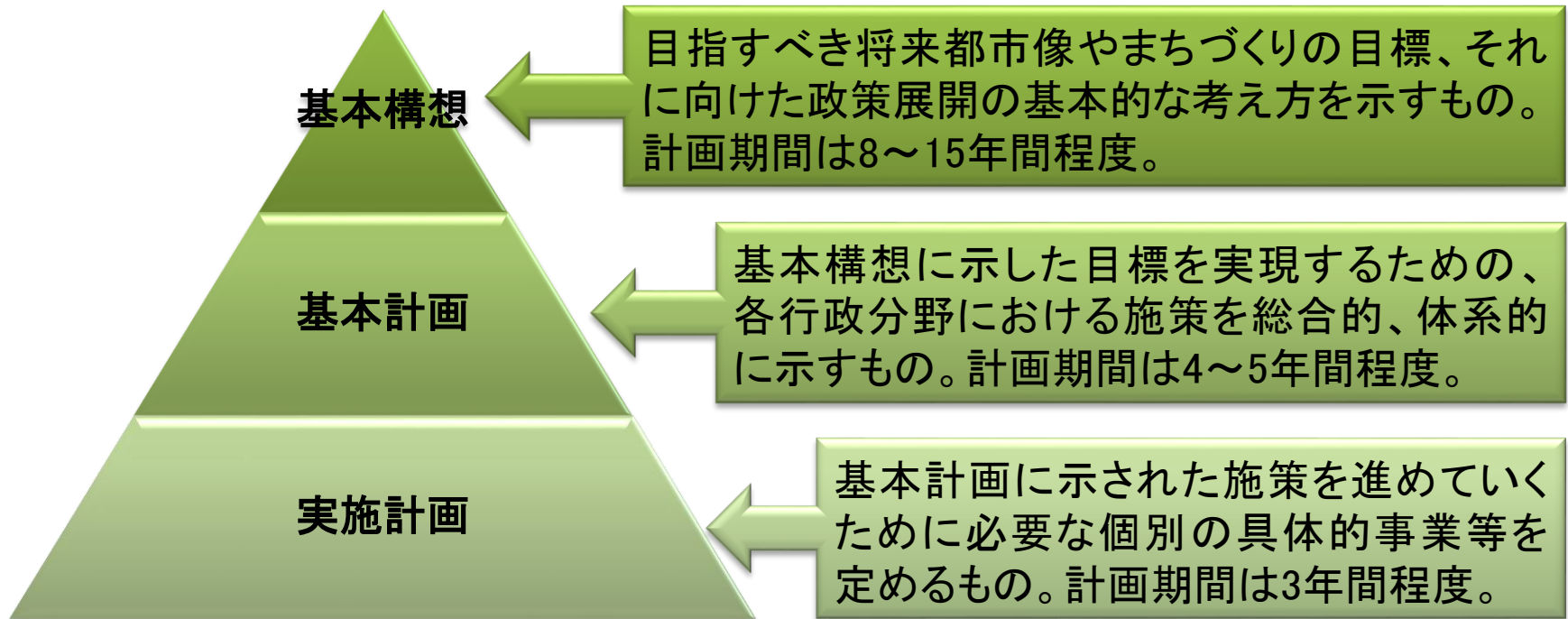


総合計画について

総合計画は、地方自治体が目指すまちの将来像を掲げ、その実現のための施策を明らかにし、体系的・計画的に進めていくための指針となるもの。**自治体が策定する全ての計画の基本となる。**一般的に、基本構想とこれに基づく基本計画および実施計画からなるものが多い。

一般的な総合計画の構成



小諸市総合計画の計画期間

➤ 第5次基本構想：12年間

⇒ 平成28年(2016年)から令和9年(2027年)

➤ 第11次基本計画(中期)：4年間

⇒ 令和2年(2020年)から令和5年(2023年)



小諸市総合計画の『計画内容・特徴』

- **基本構想：「地域を対象とした計画」**
 - ⇒ 市民、市民活動団体、区、事業者、市役所の目標や役割分担の設定
- **基本計画：「行政を対象とした計画」**
 - ⇒ 基本構想のうち市役所の役割を具体化したもの
- **計画期間：市長任期との整合**
 - ⇒ 基本構想：12年間 基本計画：4年間かつ計画策定年度を初年度とする
 - ⇒ 市長マニフェストを施策・事業へ反映する
- **基本計画と予算の連動**
 - ⇒ 予算編成の前提として、基本計画（実施計画）の評価、改善策の検討、計画内容の見直しを行う。小諸市は「計画・評価」と「予算」を連動して行っている。
- **審議会と議会が計画の進捗を毎年度チェック**
 - ⇒ 成果説明書＝基本計画の評価結果と改善策
 - ⇒ 審議会や議会における議論で納得を得る（アカウンタビリティ）

小諸市総合計画の『計画体系』

◎小諸市総合計画
「第5次基本構想・第11次基本計画」体系図

